

フォーミュラリ（経口ビスホスホネート製剤）

■第一選択薬

薬剤名	連日	週1回	月1回	禁忌
リセドロン酸	-	17.5 mg	75 mg	・妊婦 ・高度な腎機能障害（Ccr<約30mL/min）の患者 ※補足2, 3も参照
アレンドロン酸	5 mg	35 mg	-	※妊婦や高度な腎機能障害患者への投与については、 補足2, 3も参照すること

■補足

- BP製剤の骨折予防効果は、十分量のカルシウムとビタミンDを補充した条件下で検討されています。BP製剤導入前にはビタミンD濃度（外注検査【BMLⅠ：「25(OH)D」】）をご検討ください。ビタミンDの併用では血中カルシウム上昇および尿中カルシウム排泄増加の可能性があることに留意ください。
- 妊婦への投与において安全性に関するデータは不足しているため、妊婦又は妊娠を予定している女性への投与は避けてください。
- CKD G4またはeGFR <35 mL/min/1.73 m²の患者におけるBP製剤の使用に関して、大規模な臨床安全性データはありません。
- 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死や急性期反応、非定型大腿骨骨折などがBP製剤に関連する有害事象として知られています。予防などの対策については、各指針等を参考に対応ください。
 - 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー 2023
 - 急性期反応：ビスホスホネート製剤の急性期反応に対する対策について（日本骨粗鬆症学会、日本骨代謝学会）
 - 非定型大腿骨骨折：非定型大腿骨骨折診療マニュアル. 日整会誌. 2015; **89**: 959-73.